株主のみなさまへ

三洋化成 工業株式会社

第95期 中間期 2018年4月1日~2018年9月30日

CONTENTS

 株主のみなさまへ/財務ハイライト/
 女性活躍推進・CSR活動
 7

 TOP INTERVIEW
 1-2
 財務諸表
 8

 セグメント別 営業の概況
 3-4
 会社概要/株式の概況
 9-10

TOPICS 5-6















株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまわり、厚くお礼申しあげます。当社第95期中間期(第2四半期累計期間:2018年4月1日~2018年9月30日)の連結業績の概要をここにご報告申しあげます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご 協力をたまわりますようお願い申しあげます。

2018年11月

代表取締役社長子為孝夫

社 是

企業を通じて よりよい社会を 建設しよう



(当中間期の事業環境について教えてください。

A 当中間期におけるわが国経済は、設備投資、輸出が緩やかに増加し、個人消費の持ち直しが継続する等、回復基調が続いています。また、中国経済は減速しているものの、堅調な米国経済に加え、欧州経済の回復が底堅く継続しており、わが国を取り巻く環境は概ね順調に推移しました。

化学業界におきましては、為替相場は安定しているものの、原料価格は上昇基調が続いており、事業環境は予断を許さない状況にあります。

当中間期の業績について教えてください。

A このような環境下における当中間期の売上高は、原料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、819億5千7百万円(前年同期比5.0%増)となりました。利益面では、売上高の増加等により、営業利益は67億9千万円(前年同期比15.5%増)、経常利益は85億7千9百万円(前年同期比23.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利

益は59億4千8百万円(前年同期比24.4%増)となりました。

なお、中間配当金につきましては、本年6月に実施した 期末配当金から5円の増配となる1株当たり60円とさせて いただきました。

A 当社グループでは、一人ひとりの生産性向上と多様な人材の活躍推進を図るべく「働き方改革」に注力しています。フレックスタイム制度や時間単位有休制度などの制度面での整備に加え、従業員の中から公募・推薦でメンバーを募った「働き方改革プロジェクト」を始動させ、これまで以上に働き方改革や業務革新を加速させています。

最後に株主のみなさまへ一言お願いします。

A 中期経営計画のスローガン「変える。」のもと、グローバルに、ユニークな優良企業グループを目指し変革に取り組んでいきます。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申しあげます。

財務ハイライト(連結) | 中間期 | 通期





◎営業利益の推移



◎経常利益の推移



◎親会社株主に帰属する当期純利益の推移



◎*1株当たり当期純利益の推移



○総資産・純資産・自己資本比率の推移



※当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2014年度の期首に株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

生活•健康産業関連分野

生活産業関連分野は、ポリエチレ ングリコールの国内外の需要が旺 盛であったこと、液体洗濯洗剤用界 面活性剤が好調に推移したことか ら、売り上げは大幅に増加しました。

健康産業関連分野は、主力の高 吸水性樹脂の販売が低調に推移し 売り上げは構ばいとなりましたが、 販売価格の改定により増益となり ました。

売上高

298億8千8百万円 (前年同期比2.1%增)



液体洗剤に

- 〈主な製品〉
- ●洗剤·洗浄剤用界面活性剤
- ●ヘアケア製品用界面活性剤
- ●高吸水性樹脂 ●医薬品原料

党業利益

12億5千7百万円 (前年同期比83.4%増)

プラスチック・繊維産業関連分野

プラスチック産業関連分野は、国 内塗料用添加剤の需要が低調に推 移したものの、永久帯電防止剤が国 内外ともに売り上げを伸ばしたこと に加え、ゴム・プラスチック用活性剤 の需要が堅調に推移したため、売り 上げを伸ばしました。

繊維産業関連分野は、合成皮革・ 弾性繊維用ウレタン樹脂は好調に 推移しましたが、ガラス繊維用薬剤、 炭素繊維用薬剤が低調に推移した

> 111億5千3百万円 (前年同期比1.9%增)

ため、売り上げは低調となりました。



電子部品の搬送材料に

- 〈主な製品〉
- ●永久帯電防止剤 ●顔料分散剤
- ●樹脂改質剤
- ●途料用樹脂
- ●炭素繊維用薬剤 ●ガラス繊維用薬剤

17億8_千5百万円 (前年同期比6.9%減)

110億6千万円 (前年同期比15.5%增)

生活・健康産業

36.4%

関連分野

〈主な製品〉

25.5%

環境•住設産業 関連分野他

情報•電気電子産業

13.5%

プラスチック・

13.6%

繊維産業

関連分野

関連分野

11.0%

石油·輸送機産業

情報·電気電子産業 関連分野

関連分野

情報産業関連分野は、粉砕トナ

ー用バインダーが需要家の一時的

な在庫調整により売り上げは減少

しましたが、重合トナー用ポリエス

テルビーズの新製品の拡販により、

雷気電子産業関連分野は、

UV・EB硬化樹脂が堅調に推移

しましたが、電子材料用粘着剤の

需要が落ち込んだため、売り上げ

は構ばいとなりました。

大幅に売り上げを伸ばしました。

▶▶▶売 上高合計

819億

5-7 百万円

- ●重合トナー中間体 ●トナーバインダー
- ●アルミ電解コンデンサ用電解液
- 電子部品製造工程用薬剤

党業利益

19億4千5百万円 (前年同期比42.7%増)

石油·輸送機產業関連分野

石油・輸送機産業関連分野は、自 動車内装表皮材用ウレタンビーズ が搭載車種の切換えで需要が減少 しましたが、自動車シートなどに使わ れるポリウレタンフォーム用原料の 国内向け、及び潤滑油添加剤が国 内外ともに好調に推移したため、売 り上げを伸ばしました。



- ●自動車内装表皮材用ウレタンビーズ
- ●ポリウレタンフォーム用原料
- ■潤滑油添加剤

〈主な製品〉

208億5千8百万円 (前年同期比5.8%增)

12億8千9百万円 (前年同期比5.2%減)

環境•住設産業関連分野他

環境産業関連分野は、高分子凝 集剤の市況が引き続き低迷しました が、その原料であるカチオンモノ マーが好調に推移したため、売り上 げを伸ばしました。

住設産業関連分野は、十木・建築 工事向けセメント用薬剤が低調に推 移したものの、家具・断熱材などに 用いられるポリウレタンフォーム用原 料の国内向けが好調であったため、 売り上げを伸ばしました。

89億9千6百万円 (前年同期比4.9%增)



〈主な製品〉

- ●廃水処理用高分子凝集剤
- ●家具・断熱材用ポリウレタン原料
- 建築シーラント用原料

党業利益

5億1千2百万円 (前年同期比7.3%減)

Topics

韓国で潤滑油添加剤『アクルーブ』を生産

一生産能力1.1万トン/年規模の生産設備新設に向け合弁会社を設立一

当社は、主力事業の一つである潤滑油添加剤『アク ルーブ』シリーズの世界的な需要増に対応するため、韓 国において新たな合弁会社「韓国三洋化成製造株式



(当社グループである韓国サンノプコ株式会社の敷地内での 設備新設を予定しています。)

会社 | を設立しました。

自動車業界では省燃費 ニーズが高まっており、燃費 向上効果が注目される『ア クルーブ | の需要が拡大し ています。当社グループで は、需要増に対応するととも に、BCP(事業継続計画) の観点からも、グローバルな



潤滑油添加剤 「アクルーブ |

生産体制の強化と生産拠点の複数化を進めています。

『アクルーブ』の生産拠点は国内2カ所と米国及び中 国の計4カ所あり、2020年に韓国で新設備が商業生 産を開始することで、生産能力は現状の5.9万トン/年 から7万トン/年に拡大する予定です。

社長室での打ち合わせの様子

服装自由化の実施

一自由な発想を生み出す風土を醸成一

当社は、全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じる企業をめざし、第 10次中期経営計画のスローガンである「変える。」のもと、従業員の 一年を通じた服装自由化を本年8月より取り入れました。

当社では多様な人材が、多様な働き方・考え方でモチベーションを 高く持って働けるよう、各種制度の思い切った見直しや規制緩和等に 取り組んでいきます。

高吸水性樹脂(SAP)の新たな製造技術を開発

一制御ラジカル重合法を適用した高吸水性樹脂の工業化に成功一

当社グループであるSDPグローバル株式会社は、 株式会社合同資源との共同開発により、高吸水性樹 脂(SAP)の新しい製造技術を確立し、工業化に成功 しました。

この技術により、SAPの網目構造を均一化し、吸水 性能を大幅に向上することができます。また、従来技術 と組み合わせることでSAP設計の自由度が高まり、性 能に関する高度なニーズにも対応することができます。

なお、今回の技術の有効性が評価され、2018年度 ヨウ素学会賞に選ばれました。



SAPが利用される紙おむつ

近畿化学協会から環境技術賞を受賞

一洗浄力と生分解性を両立した衣料用洗剤基剤一

受賞の対象となった洗剤基剤『エマルミンCS-100』 は、当社が長年培ってきた界面活性剤の設計技術を活 かし、界面活性剤の分子構造を最適化することで、優 れた生分解性を維持した上で、洗剤の洗浄力を大幅に 向上させることができます。

今後は衣料用洗剤分野だけでなく、他分野において も求められる性能と生分解性を両立した基剤等、環境 や省エネ・省資源等に配慮した製品開発を行い、持続 可能な社会の実現に貢献していきます。



女性活躍推進

多様な人材が活躍できる職場づくり

当社は、女性社員のさらなる活躍を推進していきま す。2020年度に、女性リーダー職(主任職以上の女 性組合員)の人数を2013年度比の1.5倍にするとい う当初目標を3年前倒しで達成しました。今後も女性 リーダー職を増やすべく各種取り組みを実施していき ます。

仕事と育児の両立に関しては、法定を上回る育児休 業制度、育児休業から復職した女性社員のキャリア形 成を支援するセミナーの開催やベビーシッター・病児 保育利用時の費用補助制度導入のほか、長時間労働 を是正するための働き方の見直しなどに取り組んでき ました。このような取り組みの結果、優良な「子育てサ

ポート企業 | として、2017年には、 京都労働局より「プラチナくるみ ん | の認定を受けています。





CSR活動

京都市青少年科学センターの 夏休み体験型特別展に協力

本年7月から9月までの夏休み期間中、当社は京都 市青少年科学センター(京都市伏見区)にて開催され た特別展に協力し、当社製品を活用した展示品を出展 しました。

京都市青少年科学センターでは、子どもたちが夏休 みに、より豊かな理科・科学の体験ができるよう、2013 年より毎年京都に本社を置く企業から協力を受けなが ら、体験型特別展を開催しています。今年で6回目の 開催となりますが、化学会社としては当社が初めての 出展となりました。



来場者でにぎわう展示室

子どもたちは、ウレタンフォームの反発体験、磁性粉 子を使った絵柄探し、界面活性剤を使った大小のシャ ボン玉作り、高吸水性樹脂の吸水実験を体験しました。

《財務諸表》

第2四半期連結貸借対照	(単位:百万円)		
科目	前期末 (2018年3月31日現在) (2018年3月31日現在) (2018年9月30日現		増減金額
資産の部			
流動資産	88,942	90,503	1,561
固定資産	110,236	115,462	5,225
有形固定資産	69,883	71,148	1,264
無形固定資産	2,782	2,825	42
投資その他の資産	37,570	41,488	3,918
資産合計	199,179	205,966	6,786
負債の部			
流動負債	50,197	50,058	△138
固定負債	12,712	12,423	△288
負債合計	62,909	62,482	△426
純資産の部			
株主資本	115,037	119,769	4,731
その他の包括利益累計額	15,062	17,398	2,336
非支配株主持分	6,170	6,315	145
71 200 101 21373			
純資産合計	136,270	143,483	7,213

ポイント

連結貸借対照表について

- 投資有価証券の増加等により、資産合計は前期末比67億8 千6百万円増の2.059億6千6百万円となりました。
- 負債合計については前期末比4億2千6百万円減の624 6 億8千2百万円となりました。
- 3 利益剰余金の増加等により純資産合計については前期末 7 比72億1千3百万円増の1.434億8千3百万円となりました。

連結損益計算書について

原料価格上昇に伴う販売価格の改定等により前年同期比 で増収・増益となりました。

第2四半期(累計)連結損益計算書 (単位:百万円)				
科目	前第2四半期 (自2017年4月1日 (至2017年9月30日)	当第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	増減金額	
売上高	78,075	81,957	3,882	
売上総利益	16,834	17,980	1,145	
営業利益	5,880	6,790	910	
経常利益	6,930	8,579	1,648	
税金等調整前第2四半期純利益	6,526	8,245	1,718	
第2四半期純利益	4,959	6,231	1,271	
親会社株主に帰属する第2四半期純利益	4,780	5,948	1,168	

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

	第2四半期(累計)連結キャッシ	ュ・フロー計算書	를 (単位:百万円)
	科目	前第2四半期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期 (自2018年4月1日 (至2018年9月30日)
3	営業活動によるキャッシュ・フロー	6,266	6,480
6	投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,524	△7,220
7	財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,803	△699
	現金及び現金同等物に係る換算差額	99	16
	現金及び現金同等物の増加額	△5,961	△1,422
	現金及び現金同等物の期首残高	23,138	17,377
8	現金及び現金同等物の第2四半期末残高	17,177	15,955

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております

連結キャッシュ・フロー計算書について

- 流動資産の増加、有形固定資産の増加、時価評価による 🕟 営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期 純利益や減価償却費等により、64億8千万円の資金の増加と なりました。
 - 投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得による 支出等により、72億2千万円の資金の減少となりました。
 - 財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払による支 出等により、6億9千9百万円の資金の減少となりました。
 - ❸ 現金及び現金同等物は前期末比14億2千2百万円減の 159億5千5百万円となりました。

《 会社概要/株式の概況 》

概 況 (2018年9月30日現在)

立:1949年11月1日

資本金:13,051,179,427円

従業員数:1.359名(連結2.098名)

関係会社:国内9社、海外16社

株式総数及び株主数(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数:51.591.200株 発行済株式総数: 23.534.752株

数:5,376名

大株主(2018年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	4,286	19.4
東レ株式会社	3,826	17.3
株式会社日本触媒	1,105	5.0
JXTGホールディングス株式会社	1,061	4.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,032	4.7
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	833	3.8
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SSD00	692	3.1
三洋化成従業員持株会	471	2.1
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	381	1.7
GOVERNMENT OF NORWAY	312	1.4

(注)1.上記のほかに、自己株式1,415千株があります。 2.持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

事業所(2018年9月30日現在)

本社(京都市東川区)

東京支社(東京都中央区)、大阪支社(大阪市中央区) 営業所:東京、大阪、名古屋、北陸(富山市)、

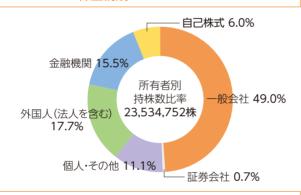
中国(広島市)、西日本(福岡市)

研究所:本社、柱(京都市西京区)

工 場:名古屋(愛知県東海市)、衣浦(愛知県半田市)、

鹿島(茨城県神栖市)、京都

株主構成(2018年9月30日現在)



株価の推移



(注)1.当社は、2016年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で株式併合しております。 これに伴い、2015年4月1日に株式併合を実施したと仮定して株価の推移を表示しております。 2.株価は東京証券取引所によるものです。

役 員 (2018年9月30日現在)

取締役 取締役会議長 (社外)	上野 觀		常務執行役員	鶴田	博之	サンノプコ株式会社代表取締役社長
代表取締役社長兼執行役員社長	安藤 孝夫		常務執行役員	金谷	英毅	経営企画室長
取締役 兼専務執行役員	樋口 章憲	経営企画担当兼営業第二部門担当兼潤滑油添加剤 事業本部長兼石油・建設・環境本部長	執行役員	木村	昌史	生活·繊維本部長
取締役 兼常務執行役員	鳴瀧 英也	営業第一部門担当兼バイオ・メディカル事業本部長 兼東京支社長	執行役員	田中	敬次	事業研究第一本部長 兼SDPグローバル株式会社取締役
取締役 兼常務執行役員	前田 浩平	研究部門担当兼研究業務本部長兼本社研究所長	執行役員	徳本	祐一	タイ事業推進室長
取締役 兼常務執行役員	太田 篤志	生産部門担当兼生産本部長兼サンケミカル株式会社 代表取締役社長	執行役員	岡田	英治	画像材料事業本部長
取締役 兼 執 行 役 員	下南 裕之	SDPグローバル株式会社代表取締役社長	執行役員	北村	充也	購買本部長
取締役 兼 執 行 役 員	山本 眞也	企業倫理担当兼間接部門担当兼事務本部長	執行役員	福井	正弘	事業研究第二本部長兼桂研究所長
取締役(社外)	相京 重信		執行役員	藤井	雄一	生産技術本部長
取締役(社外)	白井 文		執行役員	須崎	裕之	国際事業推進本部長
監 査 役 (社外·常勤)	大志万 俊夫		執行役員	原田	正大	電子·樹脂·色材本部長

三洋化成工業Webサイトのご案内

監査役(常勤) 小寺 昭芳

監査役(社外) 清水 順三

監 査 役 (社 外) **佐藤 宏之**

https://www.sanyo-chemical.co.jp/

最新トピックスをはじめ製品情報やIRに関する情報、コーポレート・ガ バナンス、CSRについても詳しく紹介しております。

また、当社が応援する女子プロゴルファー セキ・ユウティン選手とセ キ・ユウリ選手の特設サイトも設けていますので、是非ご覧ください。

三洋化成工業

(注)取締役 上野 觀氏、相京 重信氏、白井 文氏は、東京証券取引所の

定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。

QRコードからも当社ホームページが ご覧いただけます。









株主メモ

事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当基準日/3月31日

中間配当基準日/9月30日

定時株主総会/毎年6月

株主名簿管理人/三井住友信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 (電話照会先 郵便物送付先)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

T168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

公 告 掲 載/当社ホームページ

https://www.sanyo-chemical.co.jp/

上場証券取引所/東京証券取引所市場第一部

(コード番号 4471)

住所変更、配当金の受取方法の指定、 単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様が口座を開設されている証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に□座がないため特別□座が開設されました株主様は、特別□座の□座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出く ださい。

配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置 法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際 は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

三洋化成工業株式会社

本社

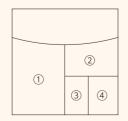
〒605-0995 京都市東山区-橋野本町11-1 TEL:075-541-0255(総務ダイヤルイン) ホームページアドレス https://www.sanyo-chemical.co.jp/











〈表紙の写真について〉

①東福寺 「京を歩けば No.326「花折断層をたどる - 鯖街道から東福寺-1]

- ②天橋立 [京を歩けば No.344[宮津 -茶屋町の記憶-]]
- ③鯖街道口の碑 「京を歩けば No.326「花折断層をたどる 鯖街道から東福寺- |]
- ④金戒光明寺 「京を歩けば No.339 「阿弥陀さまとのご縁を結びに 真如堂 |

当社ホームページでは、多彩な執筆陣が京都のさまざまな一面について語る 「京を歩けば」を掲載しています。